



会長あいさつ



山部 七生

熊本地震が発生し、ましてすでに三か月が過ぎました。大体二か月を過ぎると平常な生活を送れるものと思っていましましたが、いまだに余震が続いています。今回の地震には、いまだ行方不明の一人を含め、エコノミークラス症候群によるとみられる犠牲者も多くみられます。謹んでお悔やみを申し上げますと共に、ご冥福をお祈りいたします。また会員の皆さまにも住宅等の被害に遭われた方々もたくさんおられると存じます。お見舞い申し上げますと共に、一日も早い立ち直りを心よりお祈りいたします。

噴煙

第21号

阿蘇市文化協会  
広報委員会

〈印刷所〉  
つるばやし印刷

地震により当協会が予定していたしており、まして三か月遅れの総会となりました。遅れながら第一歩を踏み出すことになりましたが、外輪の崩落の跡が見られ、谷間に流れ落ちた土石などによる二次災害が起こる可能性が大であります。長雨や大雨が降るたびに、行政は避難命令をだします。そのたびに与えられた場所へ避難しなければなりません。今後、不安と背中合わせの日々が長年続くと思われまします。執行部といたしましては、一応の原案はありますが、皆さま方のご意見も尊重しながら、どうしたらこの苦難の道を通り越えることができるか協議を重ね、より良い結論を出していきたいと思っております。より一層のお力添えを心よりお願いいたします。

平成28年度の活動や運動を紹介いたします

平成二十八年度の「第十一回総会」は、震災の關係で約二か月遅れの七月十八日に開催しました。第十一回総会で確認された平成二十八年度の活動や事業を、皆さまに紹介と案内をさせていただきます。

早期の震災復興を目標に役員・会員が一丸となり、文化協会の取り組みが、被災者を始めとする市民の皆さんの復興力をより高めることに繋がればと念願しています。

関係する皆さまのご理解とご参加をお願いいたします。



←総会風景

【文化協会費】

平成二十八年度文化協会への会員加入と会費徴収に取り組みました。

会費について従来から「文化祭に参加しない場合は必要ないのでは？」などの意見が出されています。

そこで、改めて会費徴収に当たっての目的を申し上げ、ご理解をいただきたいと思っております。

会費の使途は、阿蘇市文化協会が主催する総会の活動に対する費用として総会での確認により執行しています。

文化祭はもとより、観月会、役員・一般合同研修、講演会などです。

阿蘇市の文化力を高めることを目的として徴収していますので、これまでのご協力に感謝し、引き続きご理解をお願いいたします。

詳細が必要な方は、事務局や常任理事などの方にお尋ねください。

【主な活動と日程】

- 9月17日 第20回観月茶会
- 11月3日 復興祭
- 12月以降 役員・一般合同研修



全壊したが、前向きに生きたい



副会長  
大木 福男

四月十六日、午前一時二十五分。突然の激震で立ち上がっても前後左右に激しく揺られて、真直ぐに立つことが出来ない。揺られている時、「バリバリ！」寝室の壁がものすごい音で壊れ始めた。「外に出ろぞ！」と大声をかけ、懐中電灯を持って妻と屋外に飛び出た。ほとんど全壊状態であったが、二人とも怪我せず外に出ることができた。隣人の自動車も旧東部小学校運動場に避難した。北外輪山の山腹崩落があり危険なために、阿蘇中学校体育館に移動した。そこには、被災された大勢の人達が非難されておられた。

これから先の生活が、大きな地震に見舞われて一変するかと思うと胸が痛んだ。そんな中、避難所での生活は努めて明るくして過ごそうと心掛けた。

地元の消防団の皆さんを始め、各地からの自衛隊の方々、他多数のボランティアの方々、市役所の皆さん方にも大変お世話になった。食料品の提供や健康に対するケアの面でも、県内外の方々のご支援を受け、有り難く心から感謝の気持ちでいっぱいだった。

あの激震の中で助かったのは、懐中電灯を身近に置いていたことと壁が壊れるものすごい音が幸いであった。会員の皆さまからも励ましの言葉等頂き心からお礼を申し上げます。被災された皆さま方、一日も早い復興と、文化協会の発展を願い、これからの人生を一会員として前向きにしっかりと生きていこうと思う。



事務局長あいさつ



小嶋 維男

これまでで経験したことのない二度に渡る震度7、九州北部豪雨大災害から五年もしないうちに起こるとは。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。四月二十二日の今年度総会に向けて準備万端進めて参りましたが、大きく変更を余儀なくされました。その後、四回の役員会の中で協議したことを、常任理事会に諮り、決めることになりました。

七月一日、常任理事会を開催しました。例年、文化祭に向けて練習研鑽を積み重ね参加しているが、本年は被災や余震の影響などの心理的負担と練習場所が避難所などに限定されたこと、日程的にも心理的にも参加できる状態にないこと。文化祭

会場である阿蘇市体育館の隣に仮設住宅が建設され、居住者の皆さまの気持ちを考えて、共に被災から立ち上がる元気を共有できるイベントの開催が有意義ではないかと協議した結果、例年同様の二日間の開催は見送り、被災された方や市民に復旧・復興に向けて元気の出るイベントを開催することになりました。部門によっては今年も頑張っている練習をされているグループもありました。作品を制作されている方もおられましたので、常任理事が理事、会員の皆さまの意見を聞くことも提案しました。しかし、それではとても取捨がつかなくなるので、役員会提案の復興祭で今年度は行こうということとに決定しました。いかなる状況下であろうと脈々と受け継がれた阿蘇市の文化の燈火を消してはなりません。共に文化の力で復興を遂げましょう。

復興をめざして



ステージ委員長 吉田紀美代

この度の熊本地震・豪雨は、本当に思いもしなかった大災害となりました。会員の皆さまもほとんどの方々が被災されたと思います。心からお見舞い申し上げます。余震が続く中、いまだ不便な生活を送っておられること

でしよう。そんな中、文化祭も例年通りにはとても実施できない状況です。替わりに本年度は「復興祭」として、元気と意欲が湧き上がる様なイベントを計画することになりました。各教室・グループの皆さまも早くご不便や心の不安を乗り越えられて活動を再開されてください。今後元気を与える側の発表の機会もあるでしょう。また、来年の文化祭に向けて演目とエネルギーを貯めておいてください。とにかく元気で前に進みましょう。



展示委員長 岡本 芳郎

先日の熊本地震により被災された皆さまに対してお見舞いを申し上げます。今展示委員長をお受けしてはいますが、昨年の文化祭は身体の不都合上、参加できなく申し訳ない気持ちです。今年度の文化祭は中止され、復興祭となります。展示

関係等はありませんので、町内にある展示場スペースを利用して、町全体で復興祭ができないだろうかと思っています。これは私だけの気持ちでどうなるかわかりませんが、一年間をかけて準備した人、コッソツと絵画・作品作りをし人々に観てもらいたい、また、その人の作品を心待ちにしていた人もおられると思うと、何らかの形で展示会ができないかと思っています。いつでも出品される様に、震災に負けないで楽しみながら作品作り、に頑張ってください。

熊本地震

(ゆうすげ)



避難車に手足伸ばして見返れば  
古き母屋は残照の中  
(藤川 州子)  
揺れている何も見えない暗闇を  
とにかく外へと必死で逃げる  
(野間えり子)  
揺るる度に五体縮まる車中泊  
素足の温みを犬に貰いて  
(志賀キヨ子)  
空襲に耐えたる我も地震恐れ  
古家の二階に一人潜みぬ  
(田代富士子)  
挟られし外輪山の岩肌  
緑度るはいつの日ならむ  
(松本ユリ子)

火曜会 絵画展を開く

西村伎久乃

震災のため中断していた私たちが火曜会、やっと使用可能となった教室で仲間と顔を合わせホッ！全員揃ったわけではないが互いの無事を喜び合った。すさまじい地震被害状況と恐怖を延々語り合ったのは言うまでもない。さて、当会では阿蘇医療センター



ロビーで、これまで描いてきた作品を展示することになり、風景人物、静物画全十七点を六月一日から一か月間、皆さまに披露した。同センターを



「牧場」(マゼノ) F50 油彩 会員 山野 紘三 氏

銀光会展入選作品

訪れる人、入院されている人々の目に留まり、ひとときの癒しとなったのなら嬉しい限りである。今後この活動を続けていけたらと思う。なお、毎年小国ユーステーションで開かれていた阿蘇の絵画展(五月いっぱい)は残念ながら今年中止となった。今、何は無くともいつものように、楽しく絵を描いていられるのは幸せなことである。

文化協会主催 復興祭 11月3日(木)

~第20回~ 9月17日(土) 観月茶会 農村環境改善センター